

## アベノミクスを検証する 第一の矢・金融緩和でどうなったか

日銀の「大胆な金融緩和」で

**景気回復に まだ効果なし**

**お金が増えたのは銀行だけ**

安倍政権の経済対策アベノミクス、「第一の矢・金融緩和」が実施されてこの4月で一年になります。

政府は、企業や個人がお金を借りやすくなり市中にお金が増えて景気がよくなるという、銀行が持っていた国債や金融商品を買上げ、日銀が供給したお金は銀行のもとに2倍に膨れ上がり溜まっています。

日銀の福総裁も「景気回復の動きはまだ」といっています。車のローンや住宅ローンで私たちがお金を借りるときは、就職できた時や給料やボーナスが増えた時です。年収200万円以下の低賃金労働者は1090万人と増え続けています。

中小企業は不景気で設備投資も増えません。大企業は、2

## 輸出大企業は円安で大喜び、国民中小企業は物価高、国の借金は増

60兆円も「内部留保」という利益の溜め込みをし、すぐ使える預金230兆円をかかえています。

**銀行の貸出しは増えず、政府のいう経済活動は活発にならず**

金融緩和で、1ドル95円で買ったものが102円出さないと買えなくなり、円の価値が下がる円安となりました。灯油の価格は、昨年6月には18<sup>リットル</sup>1755円が今年4月には1919円、9%以上の値上がりです。

物価上昇率は2.7%、賃金上昇率は2.14%を超えています。円安で輸入物価が上がります。円安で輸入物価が上がります。国民生活の負担を増やし、中小企業は経費高で利益を減らし景気回復の足を引っ張っています。一方で儲けた人も一部にいます。輸出企業です。1ドルの商品を輸出し95円もらっていたのが、円安で102円もらえるようになります。昨年の日本の自動車輸出台数は前年より2万60

34台も減ったのに、収入は12.9%も増えました。トヨタはこの円安だけで今期502億円の利益をあげました。

もう一つは投機関係です。日銀が

国債や不動産投資信託などの金融商品を大量に買い上げる政策を打ち出したので、「値上がりが確実」とみた投機筋の買い注文が殺到。昨年4月には平均株価1万2千円が5月には1万5千円と急上昇。一カ月で一株3000円の値上がりです。日本の証券市場の6〜7割は外国の投資家が儲けています。

日本国債の価値を下げないために、日銀は国債の買い上げを止められませんが。

国債は、政府の借金証書です。お

札を発行する日銀が政府の借金を引受ければ、国が際限のない借金をすることにになります。国の借金は増え続け、2013年度末で約1024兆円に膨れ上がっています。

今回は、アベノミクスの「第二の矢・大胆な財政出動」。

借金をさらに増やしています。

### 議員のひとりごと

常山 知子

その映画のことを知ったのは、運転中のラジオから。「ウッドジョブ」(WOOD JOB!)「原作は「神去(かむさり)」なあなあ日常「三浦しをん著。

高校を卒業したら、フリーターでもしながら…適当に思っていた主人公。半ば強制的に三重県山奥神去村へ行くために…。主人公は自分の意思に反して、その村で林業研修生として働くうちにたくましく、村に受け入れてく…。そんなあらすじだが、私は映画ではなく本から入った。

読みながら、我が町に思いを寄せた。

町の面積の70%は山林。以前は、山あいに多くの人が住み林業を営んでいたときもあった。しかし外国からの安い材木に押され、山は見放された。植えられた杉やヒノキは今ほとんど手入れしたくもできない状態だ。それがまた、土砂災害などの原因にもなっている。

わが町にもこうした林業男子がやってきてほしい。

大企業の内部留保を賃上げに！  
原発ゼロこそ 経済に展望ひらく！

**日本共産党**

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

町議会議員 常山 知子

電話・FAX 62-6733